

構想力の経営

変化に鈍感な組織は必ず衰退して行きます。今日が最善であっても明日も最善とは限らないからです。

現状維持の守勢は最大のリスクです。変わり続け、行動する企業より常にリスクが上回っています。

情報は発信が第一、第二が共有、収集は第三番です。感性の構想力は、現状認識

から来る問題意識が主です。人によってそれぞれです。

構想力は使命感の哲学（生き方）、世界観や人生観から徹底的に考え抜かれた創造的行為である。

単に衛星ロケットで言えば、打ち上げの目的、タイミングと方向性です。

まず発射場の現地で何を感ず、何を気づくかですが、目的と問題意識がなければ、腹底に響く大爆音と閃光に感動するだけで、構想に何ら繋がらないと思います。

宇宙飛行士は次元の異なる空間から自分の目で、地球と人類を俯瞰した時、確実に意識に変化があったと思います。

ある意味「神」の領域でしょうか。

私たちも常に顧客志向、市民立場であれば、見える世界は必ず違って来ることでしょ



仕事を通じて顧客と従業員、

仲間を幸せにし社会に貢献する

う。

感性の違和感は大局感から末端に来るものです。

消費増税8%から10%、エボラ出血熱、イスラム国、人口減少など津波の如く瓦解（変革）の地響きが聞こえているではないか。

人まねでない自らで構想を考え提案し、実行する中で検証し磨かれて他の追従を許さないものになるです。答の全ては自然界に存在しています。

見ていると気付かない、謙虚でないから分からないのです。

6月16日、便り352号の

失敗アベノミクスは先月31日、消費増税支援で日銀の追加金融緩和

「皇室とベニスの商人」でホワイトナイトと書きましたが、先月その気鋭の社長に会いました。

その会社のホームページに社訓・行動指針が掲示されていましたので御紹介します。

社訓

- 笑顔…みんなの笑顔がふれる職場
- 前向き…物事すべてを前向きにとらえて
- 思いやり…まわりの人たちへの思いやり

行動指針

1. 物事すべてを「前向き」に「プラス思考」でとらえよう
2. 「ピンチ」↓「即チャンス」ととらえ行動にうつそう

1、やりたい目標を持つ

2、失敗を恐れない

3、最後まであきらめない

4、好奇心を大切にしよう

5、仲間、友人を広げよう

赤崎勇（ノーベル物理学賞）の発言。

次は毛利衛宇宙飛行士の言葉だったと思います。

すべての本質は良く似ています。

3. 「有言実行」「率先垂範」
4. 「出来ない理由」を考えずに「出来る方法」から考えよう

5. 「謙虚さ」と「素直さ」を以て物事を受け入れよう

6. 「即行動」「即実行」行動力と機動力をもとう

7. 「メリハリ」をつけスイツチの切り替えをしっかりとしよう

8. 現状がベストとは限らない勇気を持って「改革」をしよう

9. 人生一度きり「時は命」時間を大切にしよう

これは社長そのものの、地方のホープでしょうか。

ます。

月は太陽に照らされて光る。他者があって自分があるという、その深みに惹かれたのです。

宇宙船から見る下弦の月。あれは一生忘れません。

人とつながってこそ、自分がある。人生もそうありたいですね。

(有)西川経営オフィスサービス
事務所便り
 2014年11月4日(火) NO 373
 地域から明るい未来を作ろう